



平成 26 年度

平成 25~29 年度文部科学省 SSH 指定校

平成 26 年 11 月 17 日(月)実施

北鷹SSH通信 no.15

あきたほくよう
秋田県立秋田北鷹高等学校本校 <http://www.akitahokuyou-h.akita-pref.ed.jp/>SSH <https://ssh.jst.go.jp/>

県内サイエンス研修

1 年生全員が 8 班に分かれて、秋田県内の大学や研究所、民間企業で研修を行い、科学技術に対する興味・関心を高めたり、国際性について学んだりしました。

研修施設	研修内容	
秋田大学教育文化学部	①宇宙専攻	実験！太陽系科学
	②化学専攻	pHセンサーとパソコンを使った実験
	③生物専攻	地球環境との共生について
	④家庭専攻	秋田の食材と宇宙食への活用
⑤秋田県立大学生物資源科学部	リンゴの品種改良に関わる講義とDNA抽出実験	
⑥国際教養大学	特別講義、外国人留学生との交流	
⑦秋田県立大学木材高度加工研究所 東北電力能代火力発電所	秋田の林業と木材研究 発電所見学	
⑧DOWA エコシステム秋田(株) 昭和化学工業(株)秋田工場	リサイクル施設とケイソウ土工場の見学	

研修の様子を紹介します。



生物学専攻

DNA 抽出実験

留学生との交流

高度木材加工研究所

ケイソウ土工場

研修に対するアンケート結果は次のとおりです。

アンケート結果	とても興味をもった	どちらかという興味をもった	どちらかという興味をもてなかった	全く興味をもてなかった	よく理解できた	どちらかという理解できた	どちらかという理解できなかった	全く理解できなかった
割合(%)	41.1	48.8	9.3	0.8	31.7	58.8	8.5	1.2

初めて分かったことや今後学習で深めたいことなど(抜粋)

- ・クニマス絶滅の理由や八郎潟のヒメタニシの異常個体について知ることができた。
- ・グローバルな人材育成でコミュニケーションが大切であることを学んだ。
- ・科学の現状を知るだけでなく、その概念まで調べて納得できるように努力したい。

県内サイエンス研修の成果

科学技術に対する知的好奇心を醸成することや国際性を育成するために、秋田県内の大学や研究所、民間企業などで研修を行いました。アンケート結果から、研修内容に興味をもった生徒が 89.9%、研修内容を理解できた生徒が 90.5%であり、概ね目的を達成することができました。

県内サイエンス研修の成果を、課題研究に取り組む意欲の向上や2年生の課題研究のテーマ設定に結びつけるとともに、将来の進路に関わる取組との接続を図りたいと思います。